

経皮的血管形成術(3日コース)を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID: \_\_\_\_\_ 患者氏名: \_\_\_\_\_ さん

経過	入院日(経皮的血管形成術前日)	経皮的血管形成術当日(治療前)	経皮的血管形成術当日(治療後)	退院日					
日付	月 日 ( )	月 日 ( )		月 日 ( )					
	治療の内容が理解でき、治療を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。		退院指導の内容がわかる。					
説明指導教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師より治療の説明を行います。</li> <li>・看護師が入院生活および治療の説明を行います。(説明後、承諾書を記入し、提出して下さい)(医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい)</li> <li>・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療中ご家族の方は病棟でお待ちください。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師から治療結果について説明があります。</li> <li>・カテーテルを挿入した足は6時間は曲げないでください。6時間たてば寝返りや座ることができます。</li> <li>・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院指導を行います。</li> <li>・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。(治療直後に行うこともあります)</li> <li>・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。</li> </ul>					
治療処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身長・体重を測ります。</li> <li>・体温・脈拍・血圧を測ります。</li> <li>・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。</li> <li>・手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。</li> <li>・治療に必要な部位(橈骨または大腿)を必要時除毛します。</li> </ul>	<table border="0"> <tr> <td>足から治療する場合</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療前に点滴を開始します。</li> <li>・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。</li> </ul> </td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴を継続します。</li> </ul>  </td> </tr> <tr> <td>手首・肘から治療する場合</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療前に肘や手首に麻酔のテープを貼ります。</li> <li>・治療前に点滴を開始します。</li> <li>・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。</li> </ul> </td> </tr> </table>	足から治療する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療前に点滴を開始します。</li> <li>・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴を継続します。</li> </ul> 	手首・肘から治療する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療前に肘や手首に麻酔のテープを貼ります。</li> <li>・治療前に点滴を開始します。</li> <li>・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴を継続します。</li> <li>・手首からカテーテルを挿入した場合はバンドで固定します。</li> <li>・肘からカテーテルを挿入した場合は副え板をして包帯固定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。</li> <li>・治療翌日に採血と四肢脈圧波検査を行います。</li> <li>・症状がなければ、留置針を抜去します。</li> </ul>
足から治療する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療前に点滴を開始します。</li> <li>・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴を継続します。</li> </ul> 							
手首・肘から治療する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療前に肘や手首に麻酔のテープを貼ります。</li> <li>・治療前に点滴を開始します。</li> <li>・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。</li> </ul>								
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。</li> <li>・心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行うこともあります。</li> </ul> 								
生活行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に制限はありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドで1階のカテーテル検査室へ向かいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療後はベッド上で安静にしてください。</li> <li>・治療後は、6時間たてばトイレまで歩くことができます。</li> </ul> 						
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷の状態に異常がなければ入浴できます。</li> </ul>					
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療食となります。(カロリー・塩分制限)</li> <li>・水分に制限はありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前治療は朝食が出ません。</li> <li>・午後治療は昼食が出ません。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。</li> </ul> 						
内服薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院時内服処方が必要に応じ出ることがあります。</li> </ul>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。</li> <li>・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。</li> <li>・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・足背動脈の拍動の観察を行います。</li> </ul>						
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療の状況により、両側の足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。</li> </ul>						
備考									

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院  
循環器内科